

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040201010100		事業の種類		1		
年度	28	事務事業名	数量調整円滑化推進事業	予算事業名	数量調整円滑化推進事業	優先度	3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名 建設農林部農林水産課				
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長 竹本 頼高		担当者名 坂本 隼人		
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家						
	誰(何)を対象として	農家						
	意図(どのような状態にしたいのか)	生産者団体及び行政が一体となって行う生産調整推進活動を通じて水田営農の効率化を実現するとともに地域農業の産地を形成する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		米の生産数量(作付面積)を調整し、転作作物を作付けすることにより地域農業の産地を形成する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	水稲作付面積	ha	220	199	200	202	
	転作実施面積	ha	202	203	229	220	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.828	0.783	95	0.696	89	0.708	102	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	6,773,877	6,203,660	92	5,592,786	90	5,924,193	106	
	事業費	206,247	174,000	84	174,000	100	174,000	100	
	合計	6,980,124	6,377,660	91	5,766,786	90	6,098,193	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	134,000		0		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,846,124	6,377,660	93	5,766,786	90	6,098,193	106	
合計	6,980,124	6,377,660	91	5,766,786	90	6,098,193	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		水稲作付面積							
指標説明(式)		相生市における作付面積							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
ha	目標	216	216	100.0	203	94.0	202	99.5	
	実績	220	199	90.5	199	100.0			
指標名2		転作実施面積							
指標説明(式)		相生市における作付面積							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
ha	目標	218	230	105.5	220	95.7	220	100.0	
	実績	202	202	100.0	229	113.4			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	国から配分される米生産目標数値は達成した。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	米の作付面積調整により、米価を維持し農地の保全が図られた。	
効率性	手段の最適性	農業経営を安定させるため経営所得安定対策を法令に基づき行った。	3
	執行体制の効率性	営農知識のあるJA等、関係機関と連携し効率的に行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	4

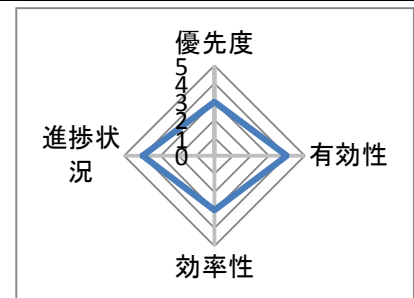
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	経営所得安定対策の適正かつ効率的な遂行。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	経営所得安定対策交付金の対象農地に絞って現地確認を行うことで、農家の負担軽減を図る。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040201010200		事業の種類		5	
年度	28	事務事業名	夢ある農村づくり推進事業	予算事業名	夢ある農村づくり推進事業	優先度	4
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名 建設農林部農林水産課			
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長 竹本頼高		担当者名 宇野智子	
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載		無	
実施計画事業名		夢ある農村づくり推進事業		主要事業の指定		無	
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家・集落					
	誰(何)を対象として	農家・集落					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市独自の水田農業を確立するため、特産品・直売所等のPR経費等に対し助成。また、集落の農地は集落が守るを原則として集落営農組織育成のための活動に助成。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市独自の水田農業を確立するため、特産品及び農産物直売所の生産拡大やPR経費等、また集落営農組織の共同活動に対して補助を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	産地づくり補助	団体	9	6	5	9	
	集落活性化補助	集落	2	2	2	2	
	イベント補助	集落	2	2	2	2	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.740	0.624	84	0.554	89	0.384	69	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	6,092,053	5,014,022	82	4,522,816	90	3,364,593	74	
	事業費	1,553,366	2,680,544	173	2,735,300	102	2,800,000	102	
	合計	7,645,419	7,694,566	101	7,258,116	94	6,164,593	85	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,645,419	7,694,566	101	7,258,116	94	6,164,593	85	
合計	7,645,419	7,694,566	101	7,258,116	94	6,164,593	85		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		産地づくり補助件数							
指標説明(式)		産地づくり補助件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
団体	目標	9	9	100.0	9	100.0	9	100.0	
	実績	9	6	66.7	5	83.3			
指標名2		集落活性化補助件数							
指標説明(式)		取り組み集落件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
集落	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	2	2	100.0	3	150.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

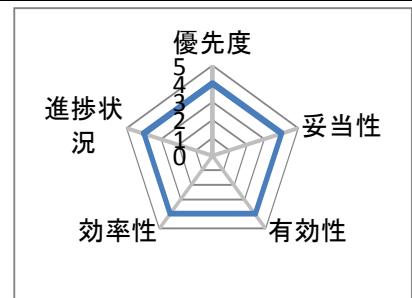
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	モンドセレクション2016で「ゆずみそ」が優秀品質銀賞を受賞し、特産品の生産拡大による6次産業化の推進機運が高まった。	4
	市民サービス	集落活動や直売所、加工所への助成をすることによって、地域の活性化を促し市民へのサービス向上につながった。	
効率性	負担割合の適正化	集落活動や直売所、加工所の団体に対しては、法人化や地域間交流等を計画的に取り組んでいる集落や、担い手育成等に取り組んでいる団体に対して助成するほか、限度額を設けて助成することで、負担割合の適正化を図った。	4
	手段の最適性	各団体の発展を促すには必要な施策であった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	活動団体が小規模なため、広域で連携した活動を行い、幅広い活動ができるよう促す。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	6次産業化の促進や特産品創出拡大に向けた取り組みを行う。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010400		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	農業金融制度利子補給事業		予算事業名	農業金融制度利子補給事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本頼高	担当者名	宇野智子
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家(認定農業者)					
	誰(何)を対象として	農家(認定農業者)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	意欲ある農業者の安定経営を図ることを目的とする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		融資機関が農業者(認定農業者)に貸し付けた資金について利子補給を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	農業近代化資金	件	0	0	0	1	
	農業経営基盤強化資金	件	2	2	2	2	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.060	0.060	100	0.064	107	0.064	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	823,413	794,174	96	830,666	105	836,593	101	
	事業費	9,347	13,582	145	11,643	86	58,000	498	
	合計	832,760	807,756	97	842,309	104	894,593	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	832,760	807,756	97	842,309	104	894,593	106	
合計	832,760	807,756	97	842,309	104	894,593	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		農家の利用件数							
指標説明(式)		借入件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3	4	133.3	4	100.0	4	100.0	
	実績	2	2	100.0	2	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	農業施設の整備に伴う借入を行う農家が少なかった。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	活用した農業者においては、運転資金として効果があった。	
効率性	手段の最適性	効率的な農業経営を図るためには必要なことであった。	3
	執行体制の効率性	県の随伴助成もあり簡素化はできた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	利用者は少ないものの概ね計画通り進捗した。	3

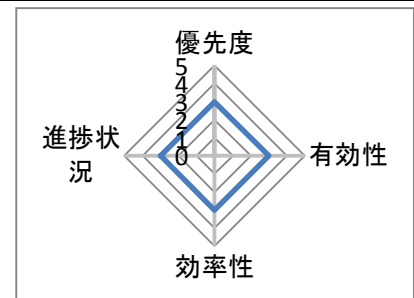
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	認定農業者が少なく、農業施設の整備の頻度が低いため利用者が少ない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	農家の経営規模の拡大を促し、設備投資しやすい対策を推進する。



配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010500	事業の種類	2
年度	28	事務事業名	上松農業共同作業所管理事業	予算事業名	上松農業共同作業所管理事業
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	建設農林部農林水産課	
施策名(中)		農林水産業の振興を図る	担当課長	竹本頼高	担当者名 宇野智子
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家			
	誰(何)を対象として	農家			
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域の農業の振興に寄与し、独自で乾燥・糶摺作業ができない農業者の利用に供する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域の農業の振興に寄与し、独自で乾燥・糶摺作業ができない農業者の利用に供する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	乾燥調整量	袋	904	920	946	1000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.020	0.036	180	0.036	100	0.036	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	513,493	614,606	120	619,686	101	615,393	99	
	事業費	78,600	46,800	60	57,260	122	195,000	341	
	合計	592,093	661,406	112	676,946	102	810,393	120	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	592,093	661,406	112	676,946	102	810,393	120	
合計	592,093	661,406	112	676,946	102	810,393	120		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		乾燥調整量							
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
袋	目標	1000	1000	100.0	1000	100.0	1000	100.0	
	実績	904	920	101.8	946	102.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

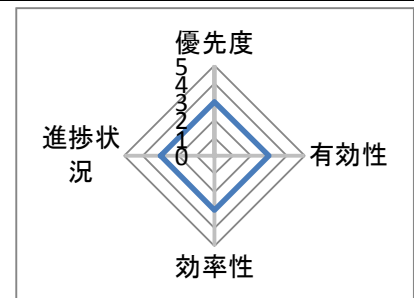
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	独自で乾燥・糶摺作業ができない農業者の利用に供するため、ブロックローテーションの加減で、安定的な利用が出来ていなかった。	3
	組織運営・適正管理	現状の施設規模の範囲内で、最大限の作業を行った。	
効率性	コストの節減	多くの利用を促すことで大きくコスト縮減ができるようになるが、施設の大きさによりもみ殻の保管ができないため利用に限度があった。	3
	執行体制の効率性	指定管理者制度により効率的に運営できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	指定管理者と連携し、有効利用を促進する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	指定管理者と連携し、有効利用を促進する。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	040201010600		事業の種類	6			
年度	28	事務事業名	土地改良事業(市単独分)	予算事業名	土地改良事業(市単独分)	優先度	3
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課			
施策名(中)	農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本頼高	担当者名	船曳直志	
取組み事項	農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無	
実施計画事業名	その他農林水産(市単土地改良事業)		ため池(双子池)整備事業				
	若狭野町福井地区暗渠排水整備事業		多面的機能交付金事業				
	ため池整備事業(点検)		ため池整備事業(調査設計)				
根拠法規及び関連法規	相生市土地改良事業分担金徴収条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	農地受益者					
	誰(何)を対象として	農業用施設					
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業用施設の維持、修繕、改修をする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	農業用施設の維持、修繕、改修をする。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	市単独土地改良工事	地区	14	13	8	10

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.420	1.082	258	0.860	79	0.820	95	
	臨時職員		0.080	-	0.080	100	0.080	100	
支出内訳	人件費	3,612,693	8,642,298	239	7,037,086	81	7,030,513	100	
	事業費	14,259,868	43,796,605	307	38,721,159	88	38,922,000	101	
	合計	17,872,561	52,438,903	293	45,758,245	87	45,952,513	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	5,485,320	24,626,652	449		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他	2,185,020	4,257,330	195		0		-	
	一般財源	10,202,221	23,554,921	231	45,758,245	194	45,952,513	100	
	合計	17,872,561	52,438,903	293	45,758,245	87	45,952,513	100	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	工事の実施率								
指標説明(式)	$\text{工事実施件数} \div \text{工事計画件数} \times 100$								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		年度内予算執行額							
指標説明(式)		年度内予算執行額÷年度内予算額×100							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	88.0	97.6	110.9	99.7	102.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	農業用施設の機能回復する。	4
効率性	コストの節減	見積合せ及び一般競争入札により削減が図られている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

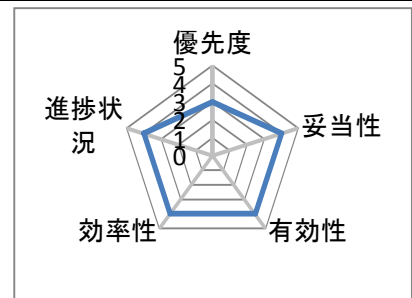
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	老朽化している施設が多く、成果を上げるには、維持修繕等の事業費が増となる。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	緊急性の高いもの、効果のある事業を優先するようになる。



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010700	事業の種類	7
年度	28	事務事業名	土地改良事業(県施工分)	予算事業名	土地改良事業(県施工分) 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本頼高
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		担当者名	船曳直志
実施計画事業名		ため池(那波野岩屋谷池)整備事業		実施計画への記載	有
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農地受益者			
	誰(何)を対象として	農業用施設改修による負担金			
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業用施設の改修を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		県施行事業				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	県施行事業	事業	1	0	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.620	0.200	32	0.128	64	0.128	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	5,162,293	1,841,654	36	1,312,906	71	1,342,193	102	
	事業費	7,371,281	89,300	1	87,200	98	65,000	75	
	合計	12,533,574	1,930,954	15	1,400,106	73	1,407,193	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	67,000		0		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	12,466,574	1,930,954	15	1,400,106	73	1,407,193	101	
合計	12,533,574	1,930,954	15	1,400,106	73	1,407,193	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		工事の実施件数							
指標説明(式)		工事の実施件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件数	目標	1	0	0.0	0	-	0	-	
	実績	1	0	0.0	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	事業の完了により取水能力が良くなる。	3
効率性	負担割合の適正化	補助事業のため見直しはしない。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画が完了している。	5

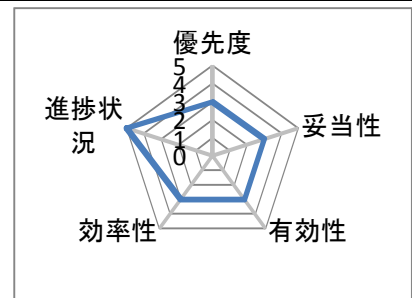
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	県営事業について、平成31年度採択に向けて要望していく。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	緊急性・優先性	災害等から市民を守るため、県営事業実施に向けた取り組みを行う。



配点	32.5
総合評価	21.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010800		事業の種類	0	
年度	28	事務事業名	農業委員会事務		予算事業名	農業委員会費事務経費 優先度 ー	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	農業委員会農業委員会		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高		担当者名 宇野 智子
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		農地法、農業委員会等に関する法律					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農業及び農地にかかわる市民					
	誰(何)を対象として	農業及び農地にかかわる市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	農地の転用及び権利移転等の適正化、遊休農地の発生防止並びに担い手農業者への農地の集積・集約化等の推進					

2 事業の概要 Do

実施の概要		1. 農地の売買・貸し借りその権利移動等、農地法に定められた規定に基づく事務 2. 農業者年金受給・加入関係書類の受理等の農業者年金基金法に基づく事務 3. 農業委員会委員選挙人名簿登録申請書に基づく事務					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	農地法関係事務	件	102	181	74	80	
	農業経営基盤強化促進法関係事務	件	228	264	171	180	
	農業者年金関係事務	件	11	11	11	11	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.656	0.648	99	0.684	106	0.744	109	
	臨時職員	1.000	1.000	100	1.000	100	1.000	100	
支出内訳	人件費	7,871,221	7,712,590	98	8,109,366	105	8,977,593	111	
	事業費	11,232,818	7,870,381	70	6,681,773	85	8,284,000	124	
	合計	19,104,039	15,582,971	82	14,791,139	95	17,261,593	117	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	19,104,039	15,582,971	82	14,791,139	95	17,261,593	117	
合計	19,104,039	15,582,971	82	14,791,139	95	17,261,593	117		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		遊休農地面積							
指標説明(式)		農地の利用状況調査により把握した有給農地面積							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
戸	目標	6.0	6.0	100.0	4.9	81.7	5.1	104.1	
	実績	8.5	5.4	63.5	5.6	103.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	全国農地ナビの導入により、市内外の農地の情報が一元化され、インターネットを活用して全国から農地の受け手が希望の農地を探せるようになった。	5
	関係(根拠)法令から見た効果	法令に基づく適正な事務の執行を図ることで、農地の保全が図られている。	
効率性	コストの節減	県農業会議の協力の下、周辺他市町の農業委員会と共同で研修会を開催し、コストの節減を図った。	4
	執行体制の効率性	市の農林水産担当業務との兼務により、効率的な業務の執行が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	農家農業者等の利益代表者機関として機能を果たした	4

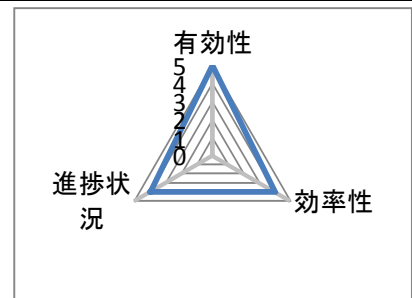
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	新体制移行に伴い、円滑な業務の継承と、農地利用最適化推進委員の効率的な活動を図る必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	新体制移行後、適宜、研修会等を開催する他、農地等利用の最適化推進指針を策定し、最適化推進委員の計画的・効率的な活動を図る。



配点	32.5
総合評価	13

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201011000	事業の種類	3
年度	28	事務事業名	農業総務費事務経費	予算事業名	農業総務費事務経費 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		担当者名	坂本 隼人
実施計画事業名		農水産ビジョン作成事業		実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家			
	誰(何)を対象として	農会長ほか、各種団体との連携強化			
	意図(どのような状態にしたいのか)	適切な農業行政の推進			

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業行政推進のための基礎的な業務				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	農家戸数	戸	961	947	940	940

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.212	0.192	91	0.216	113	0.212	98	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,001,109	1,781,798	89	1,975,986	111	2,005,793	102	
	事業費	8,047,720	5,795,340	72	5,752,080	99	5,750,000	100	
	合計	10,048,829	7,577,138	75	7,728,066	102	7,755,793	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	10,048,829	7,577,138	75	7,728,066	102	7,755,793	100	
合計	10,048,829	7,577,138	75	7,728,066	102	7,755,793	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		農家戸数							
指標説明(式)		農家戸数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
戸	目標	965	965	100.0	950	98.4	940	98.9	
	実績	961	947	98.5	940	99.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

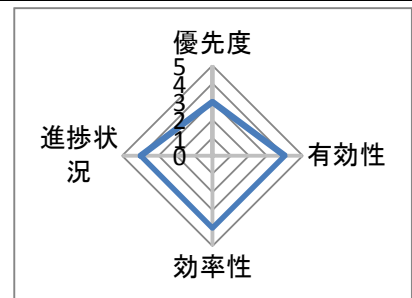
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	農業行政情報を各農会への適時提供できるよう図った。	4
	組織運営・適正管理	円滑な農業行政が図れるよう各種団体と連絡を密にし、業務に当たった。	
効率性	コストの節減	赤相農業共済事務組合(一部事務組合)により、コスト節減が図られている。	4
	執行体制の効率性	農会長と連携しながら、農業振興を図ることで、効率的な情報収集や農業関係情報の周知が図られた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	担い手農業者とその者が耕作している他集落の農会との調整・連携。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	担い手間の調整・連携づくりに併せ、関係農会長との調整・連携の場の構築を図る。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201011200		事業の種類	1		
年度	28	事務事業名	農業振興等奨励事業		予算事業名	農業振興等奨励事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課			
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	坂本 隼人	
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		新規就農者確保事業						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家						
	誰(何)を対象として	経営所得の安定化や担い手の育成						
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業の振興と不耕作地の解消を図る						

2 事業の概要 Do

実施の概要		経営所得安定対策の推進等のための事務費 認定新規就農者の拡大					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	経営所得安定対策加入者	戸	495	446	449	500	
	認定新規就農者	人		3	4	3	
	集落営農の法人化			1			
	集落営農の組織化					1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.192	0.152	79	0.224	147	0.252	113	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,846,149	1,482,518	80	2,036,266	137	2,321,793	114	
	事業費	1,865,000	12,504,200	670	7,680,600	61	7,858,000	102	
	合計	3,711,149	13,986,718	377	9,716,866	69	10,179,793	105	
財源内訳	国庫支出金	1,865,000		0		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,846,149	13,986,718	758	9,716,866	69	10,179,793	105	
	合計	3,711,149	13,986,718	377	9,716,866	69	10,179,793	105	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		経営所得安定対策加入者							
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	500	500	100.0	500	100.0	500	100.0	
	実績	495	446	90.1	449	100.7			
指標名2		認定新規就農者							
指標説明(式)		市の基本構想に沿って新たに農業経営を開始する45歳未満の青年等							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標		3	-	3	100.0	3	100.0	
	実績		3	-	4	133.3			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

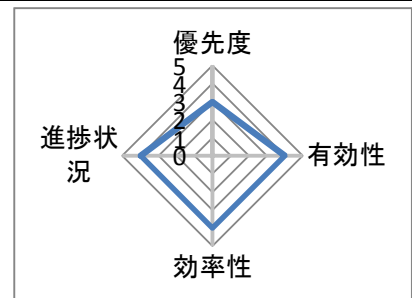
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	<ul style="list-style-type: none"> 農業経営を安定するため作付けに応じた交付を行った。 認定新規就農者の増加により、農業の担い手が育成された。 	4
	関係(根拠)法令から見た効果	自給率向上のため作付けに応じた交付を行った。	
効率性	手段の最適性	農業経営を安定させるため経営所得安定対策を法令等に基づき行った。	4
	執行体制の効率性	<ul style="list-style-type: none"> 経営所得安定対策を円滑に運営するためJA、農業委員会及び県と連携を図った。 県やJAと連携しながら、担い手の育成を図った。 	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	農地の保全と農業振興を図るため、担い手農家の育成強化が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	新規就農者の増加と定着化を推進するほか、集落営農の立ち上げや法人化を推進する。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201011300		事業の種類	5	
年度	28	事務事業名	中山間地域等直接支払事業		予算事業名	中山間地域等直接支払事業 優先度	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本頼高	担当者名	宇野智子
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		中山間地域直接支払事業補助要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家					
	誰(何)を対象として	農家					
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業生産条件の不利な棚田の保全のため、補助を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		国・県の補助金を活用し、補助事業を実施することにより、地域農業の振興を図る					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	事業実施集落	地区	7	6	6	6	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.184	0.244	133	0.220	90	0.212	96	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,784,165	2,170,862	122	2,006,126	92	2,005,793	100	
	事業費	3,419,082	2,940,088	86	2,902,760	99	2,865,000	99	
	合計	5,203,247	5,110,950	98	4,908,886	96	4,870,793	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	2,418,129		0	2,073,058	-	2,053,385	99	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,785,118	5,110,950	184	2,835,828	55	2,817,408	99	
合計	5,203,247	5,110,950	98	4,908,886	96	4,870,793	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業実施集落協定数							
指標説明(式)		事業実施集落協定数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
集落協定	目標	7	7	100.0	6	85.7	6	100.0	
	実績	7	6	85.7	6	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

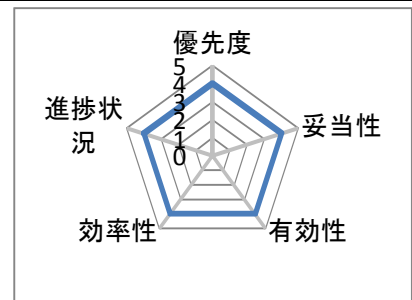
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	集落協定参加者で共同取り組みを行うことで、一定の成果が得られた。	4
	市民サービス	山際の農地を管理することで集落内の環境保全が守られた。	
効率性	負担割合の適正化	各地域において中山間地域直接支払事業対象農地のうち必要最低限の農地について国の制度を活用している。	4
	手段の最適性	集落の農地を守るため集落で協定を結び保全活動を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	高齢化、人手不足により、農地を管理することが負担になっている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	補助金を有効に活用し、活動の継続を促す。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201020100	事業の種類	3
年度	28	事務事業名	水産業振興費事務経費	予算事業名	水産業振興費事務経費 優先度 2
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名 建設農林部農林水産課	
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本頼高
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		担当者名	宇野智子
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者			
	誰(何)を対象として	漁業者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁業者が安心して生活できるよう各種団体と連携し、適切な漁業行政を展開する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		漁業者が安心して生活できるよう各種団体と連携し、適切な漁業行政を展開する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	漁業者数	人	52	55	55	55

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.024	0.032	133	0.016	50	0.016	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	544,485	584,678	107	468,986	80	457,393	98	
	事業費	168,000	148,000	88	138,640	94	133,000	96	
	合計	712,485	732,678	103	607,626	83	590,393	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	712,485	732,678	103	607,626	83	590,393	97	
合計	712,485	732,678	103	607,626	83	590,393	97		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		漁業経営体数							
指標説明(式)		漁業経営体数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
経営体	目標	24	25	104.2	25	100.0	25	100.0	
	実績	25	24	96.0	24	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業者が安心して生活できるよう漁業近代化資金の借入ができるよう漁業信用基金協会に出資し適正な漁業行政を展開することで漁業者数を維持した。	3
	組織運営・適正管理	相生漁協と連携し、漁業行政を推進することができた。	
効率性	コストの節減	漁業者が安心して生活できるよう各種団体と連携し、適切な漁業行政を展開することで漁業者数を維持した。	3
	執行体制の効率性	相生漁協と連携し、漁業行政を推進することができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	3

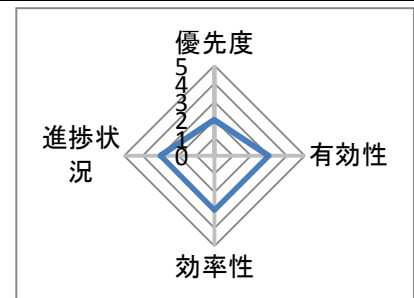
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	市からの適正な出資額について検討する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	出資額が5,000,000円となる平成29年度をもって毎年の出資を停止し、漁業近代化資金の借入状況をみながら今後の対応を検討する。



配点	25
総合評価	13

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201020200		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	水産業振興事業		予算事業名	水産業振興事業	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本頼高	担当者名	宇野智子
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者					
	誰(何)を対象として	漁業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁業者の安定経営を目的とする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生カキのノロウイルス等の検査をすることによって安心・安全をPRすることで販売促進を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	検査	回	24	24	24	24	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.024	0.032	133	0.068	213	0.068	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	544,485	584,678	107	860,806	147	868,193	101	
	事業費	9,600,000	500,000	5	500,000	100	17,600,000	3,520	
	合計	10,144,485	1,084,678	11	1,360,806	125	18,468,193	1,357	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	10,144,485	1,084,678	11	1,360,806	125	18,468,193	1,357	
合計	10,144,485	1,084,678	11	1,360,806	125	18,468,193	1,357		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ノロウイルス等検査実施回数							
指標説明(式)		ノロウイルス等検査実施回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	24	24	100.0	24	100.0	24	100.0	
	実績	24	24	100.0	24	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

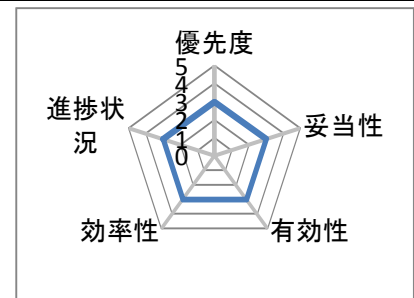
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	食の安全安心を求める市民の要望に応える事ができている。	3
	成果の向上	相生カキの生産振興により漁業後継者の育成につながっている。	
効率性	手段の最適性	カキの品質を保持できている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	種カキの不作により生産量が減少するので、地元産種カキの生産を検討する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	県、周辺他市及び漁協と連携しながら西播磨での種カキの生産技術の確立を検討する。

配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201020300		事業の種類	3	
年度	28	事務事業名	漁船保険補助事業		予算事業名	漁船保険補助事業	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	坂本 隼人
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		漁船災害等補償法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者					
	誰(何)を対象として	漁業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁船につき不慮の事故による損害の復旧を容易にすることで、漁業経営の安定経営を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		漁業者の安定経営を図るため漁船保険に対する補助を行う					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	漁船保険加入者	隻	95	91	88	96	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.024	0.016	67	0.016	100	0.016	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	544,485	464,966	85	468,986	101	457,393	98	
	事業費	1,922,571	1,865,641	97	1,801,154	97	1,991,000	111	
	合計	2,467,056	2,330,607	94	2,270,140	97	2,448,393	108	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,467,056	2,330,607	94	2,270,140	97	2,448,393	108	
合計	2,467,056	2,330,607	94	2,270,140	97	2,448,393	108		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		一隻当たりの保険料額							
指標説明(式)		保険料額/隻							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	20000	20000	100.0	20000	100.0	20000	100.0	
	実績	20237	20502	101.3	20468	99.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業者の安定経営を図っており成果としては概ね達成した。	4
	組織運営・適正管理	相生漁協が取りまとめ加入しているため適正に管理された。	
効率性	執行体制の効率性	漁業者の安定経営を図るため相生漁協と連携して取り組んだ。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	4

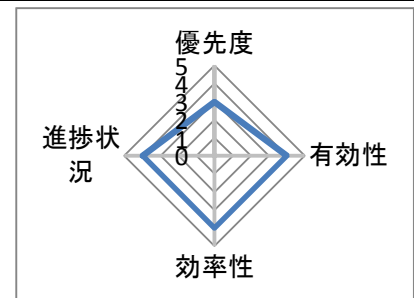
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	例年、事故が発生しており、利用の促進を図る必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	相生漁協と連携を図り、利用の促進を図る。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201020400	事業の種類	3
年度	28	事務事業名	漁業近代化資金利子補給事業	予算事業名	漁業近代化資金利子補給事業 優先度 2
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		担当者名	坂本 隼人
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		漁業近代化資金融通法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者			
	誰(何)を対象として	漁業者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	低金利の同制度を活用することで、漁業者の資本装備の高度化及び経営の近代化を促進する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		漁業者の安定経営を図るため漁業者が借り入れた資金に対して利子補給を行う				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	利子補給件数	人	7	12	19	14

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.024	0.016	67	0.016	100	0.016	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	544,485	464,966	85	468,986	101	457,393	98	
	事業費	720,529	1,094,020	152	1,056,338	97	1,329,000	126	
	合計	1,265,014	1,558,986	123	1,525,324	98	1,786,393	117	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,265,014	1,558,986	123	1,525,324	98	1,786,393	117	
合計	1,265,014	1,558,986	123	1,525,324	98	1,786,393	117		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利子補給利用率							
指標説明(式)		利子補給利用者／漁業者(55名)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	15	15	100.0	15	100.0	15	100.0	
	実績	14	22	157.1	35	159.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業の活性化を図るため利子補給をすることで漁業者の経営の安定化が図れた。	4
	組織運営・適正管理	兵庫県信漁連と連携し漁業者の経営を安定することができた。	
効率性	執行体制の効率性	漁業者の経営を安定するため相生漁協及び兵庫県信漁連と連携を図った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	4

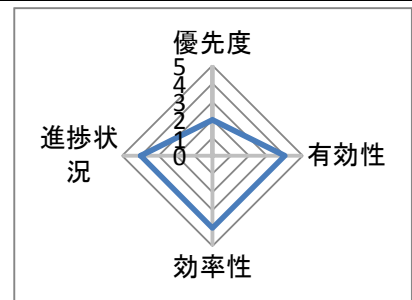
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	漁船の大型化等、漁業者の設備投資負担が高まっている中、漁業経営の安定化施策のあり方について検討していく必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業振興を図り、経営の安定化により後継者の育成を図るため、漁業者の負担軽減に必要な施策のあり方について、県、周辺他市及び漁協と連携しながら検討を図る。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201020500		事業の種類	3	
年度	28	事務事業名	水産物市場管理事業		予算事業名	水産物市場管理事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	伊勢 祥明
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		水産物市場整備事業		水産物市場管理事業			
根拠法規及び関連法規		相生市立水産物市場の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者					
	誰(何)を対象として	地域水産物及び特産品の振興と販売促進					
	意図(どのような状態にしたいのか)	担い手漁業者の確保及び育成を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		建物及び附帯設備の修繕等に対応するほか、指定管理者と連携し、水産物市場の適正かつ円滑な運営を図る。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	修繕件数	件	7	5	3	3	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.064	0.084	131	0.068	81	0.068	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	854,405	973,742	114	860,806	88	868,193	101	
	事業費	2,712,811	3,685,297	136	750,504	20	1,055,000	141	
	合計	3,567,216	4,659,039	131	1,611,310	35	1,923,193	119	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,567,216	4,659,039	131	1,611,310	35	1,923,193	119	
合計	3,567,216	4,659,039	131	1,611,310	35	1,923,193	119		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		修繕件数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	5	5	100.0	3	60.0	3	100.0	
	実績	7	5	71.4	3	60.0			
指標名2		集客数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	53000	88000	166.0	88000	100.0	88000	100.0	
	実績	88250	88503	100.3		0.0			H28は集計中

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利用客は増加した。	2
	組織運営・適正管理	水産物市場としての機能及び漁業者への貢献度は低い。	
効率性	コストの節減	委託料の支払いはなかった。	4
	執行体制の効率性	指定管理者制度を活用し、民間の経営ノウハウによる効率的な運営を行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	水産物市場としての役割が不十分。	2

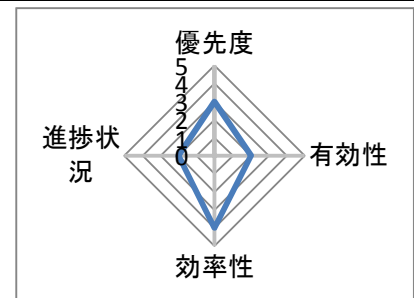
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	施設の老朽化に伴い、計画的な修繕による経費負担の予算化が必要。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	建物及び設備の修繕計画書の作成を検討する。



配点	25
総合評価	14

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040201020600		事業の種類		3	
年度	28	事務事業名	漁業緊急保証対策資金事業	予算事業名		優先度	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長		担当者名	
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載		主要事業の指定	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者					
	誰(何)を対象として	漁業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁獲金額(販売金額)が大きく減少し、資金繰りに窮している漁業者に対する融資の利子補給をすることにより漁業経営の安定化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		漁獲金額(販売金額)が大きく減少し、資金繰りに窮している漁業者が緊急的に借入した資金に対して、他の資金融資制度との利率の差額分を利子補給として行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	利子補給件数	人	5	1			

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.024	0.028	117	0.016	57	0.016	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	544,485	554,750	102	468,986	85	457,393	98	
	事業費	25,842	623	2		0		-	
	合計	570,327	555,373	97	468,986	84	457,393	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	570,327	555,373	97	468,986	84	457,393	98	
合計	570,327	555,373	97	468,986	84	457,393	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利子補給利用率							
指標説明(式)		利子補給利用者/漁業者(55名)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	11	10	90.9	-	-		-	
	実績	10	2	20.0		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利子補給することで漁業者の経営安定を図ることができた。	
	組織運営・適正管理	兵庫県信漁連と連携し漁業者の経営安定を図ることができた。	
効率性	コストの節減	漁業者の経営安定のための手段として有効であるためコストの節減はできなかった。	
	執行体制の効率性	漁業者の経営安定を図るため相生漁協と兵庫県信漁連と連携を行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	

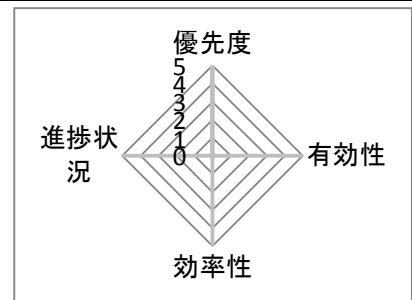
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容



配点	25
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040201020700		事業の種類		5	
年度	28	事務事業名	漁業経営構造改善事業	予算事業名		優先度	4
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	伊勢 祥明
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		漁業経営構造改善事業					
根拠法規及び関連法規		水産基本法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業協同組合等の漁業者団体					
	誰(何)を対象として	水産業の強化の取組に対する支援					
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁業者の所得向上、漁業資源の増大、6次産業化の推進及び漁村の魅力向上等を推進し、漁業の活性化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生漁業協同組合が設置する上架施設、カキ洗浄機施設に対し、助成する。助成率は国(40%)、県(7%)、市(10%)。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.027	104	
	参事以下職員			-	0.032	-	0.036	113	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	589,546	-	615,393	104	
	事業費			-		-		-	
	合計			-	589,546	-	615,393	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-	12,000,000	-	
	県支出金			-		-	2,100,000	-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	589,546	-	-13,484,607	-2.287	
	合計			-	589,546	-	615,393	104	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

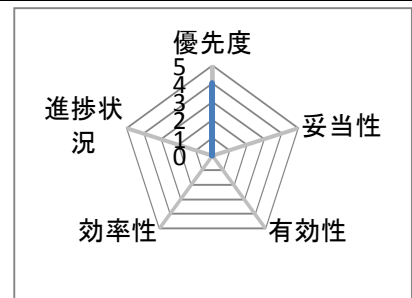
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	漁業者の所得向上、漁業資源の増大、6次産業化の推進、漁村の魅力向上等が図られることで、後継者不足の解消等、水産業振興が図られる。	
効率性	執行体制の効率性	産地水産業強化計画に基づいて国、県、市の連携のもと、計画的な実施が図られる。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成29年度、平成30年度の2箇年度で相生漁業協同組合が施設整備を実施する予定。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	8

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201030100		事業の種類	5		
年度	28	事務事業名	林業振興事業		予算事業名	林業振興事業		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る			担当課長	竹本頼高	担当者名	船曳直志
取組み事項		林業の振興を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	林業教室受講者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	林業製品の加工技術の取得						

2 事業の概要 Do

実施の概要		林業教室の補助金					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	補助金	団体	1	1	1	1	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.424	0.364	86	0.072	20	0.072	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,643,685	3,068,702	84	890,946	29	899,793	101	
	事業費	483,970	458,610	95	560,100	122	5,495,000	981	
	合計	4,127,655	3,527,312	85	1,451,046	41	6,394,793	441	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,127,655	3,527,312	85	1,451,046	41	6,394,793	441	
合計	4,127,655	3,527,312	85	1,451,046	41	6,394,793	441		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		林業教室の開催割合							
指標説明(式)		年間開催実績回数 ÷ 年間予定回数(60) × 100							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	176	176.0	145	82.4	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	目標以上の達成をしている。	4
	市民サービス	参加者が固定化しつつある。	
効率性	負担割合の適正化	補助対象回数以上の教室開催を行っている。 (補助対象回数 60回 教室開催回数 87回)	4
	手段の最適性	林産物の活用及び地域産業の伝承と、その後継者育成のためには、有効な手段である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

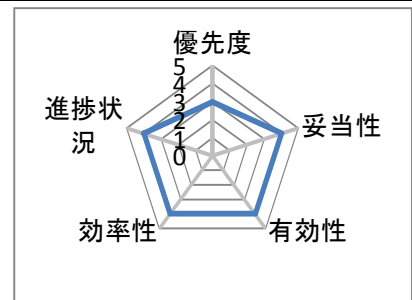
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	高齢化により、林研グループメンバーが減少している。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	新たな指導者の確保を図る。



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201040100	事業の種類	2	
年度	28	事務事業名	ふれあい公園管理事業	予算事業名	ふれあい公園管理事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課	
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本頼高	
取組み事項		交流拠点の活用とネットワーク化を促進する		担当者名	船曳直志	
		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民				
	誰(何)を対象として	市民				
	意図(どのような状態にしたいのか)	公園内の清掃及び除草				

2 事業の概要 Do

実施の概要		若狭野ふれあい公園の清掃、除草委託				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	園内清掃除草	件	1	1	1	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.020	0.032	160	0.112	350	0.072	64	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	513,493	584,678	114	1,192,346	204	899,793	75	
	事業費	655,640	634,941	97	645,646	102	731,000	113	
	合計	1,169,133	1,219,619	104	1,837,992	151	1,630,793	89	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	0		-		-		-	
	一般財源	1,169,133	1,219,619	104	1,837,992	151	1,630,793	89	
合計	1,169,133	1,219,619	104	1,837,992	151	1,630,793	89		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		委託件数							
指標説明(式)		委託件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件数	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	公園整備、管理により一層の活用が図られる。	4
	組織運営・適正管理	地元に委託し、管理することにより地元住民も地元の公園であるという意識が醸成され、公園利用に関しても関心が持てる。	
効率性	コストの節減	地元に清掃等を委託することにより、コスト縮減となっている。	4
	執行体制の効率性	十分効率的に行なわれている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

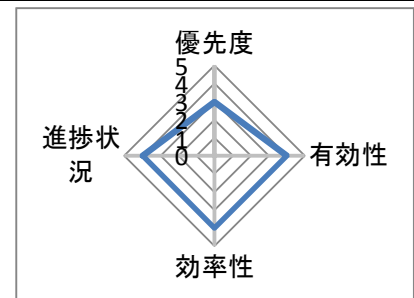
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	関係自治会により、適切な運営管理は行われているが、利用者の固定化が顕著である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	施設を、更に有効利用することを検討する。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040201050100		事業の種類		5	
年度	28	事務事業名	6次産業化ネットワーク活動事業	予算事業名		優先度	4
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	伊勢 祥明
取組み事項		地域特産物の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律(以下「6次産業化・地産地消法」という。)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農業者及び水産業者					
	誰(何)を対象として	6次産業化の取組					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域資源を活用した新たな付加価値を生み出すことで、収益力を高め、地産地消として地域の活性化や雇用の創出を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		<ul style="list-style-type: none"> 6次産業化を推進するための計画策定(改定を含む) 6次産業化の取組に対する助成 					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	計画の策定	件			1		
	補助事業の実施	件			1		

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.026	-	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員		0.080	-	0.008	10	0.008	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費		943,814	-	408,706	43	394,193	96	
	事業費		1,243,000	-		0		-	
	合計		2,186,814	-	408,706	19	394,193	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金		1,243,000	-		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		943,814	-	408,706	43	394,193	96	
	合計		2,186,814	-	408,706	19	394,193	96	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		6次産業化に取り組む事業者数							
指標説明(式)		6次産業化・地産地消法第5条に基づく総合化事業計画の認定を受け、6次産業化に取り組んでいる事業者							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標		2	-	2	100.0	2	100.0	
	実績		2	-	1	50.0			
指標名2		6次産業化の取組で生産販売する商品数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
品	目標		10	-	11	110.0	13	118.2	
	実績		10	-	13	130.0			

【効率性】

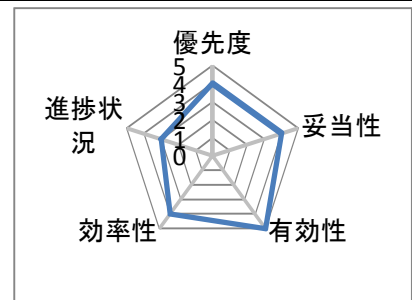
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	平成27年8月11日に制定した「相生市における6次産業化及び地産地消を推進するための戦略」に基づいて、メロンシャーベットやゆず味噌シフォンケーキが商品化された。	5
	市民サービス	新たな商品開発と収益向上の取組により、女性や高齢者の労働意欲、生きがいづくりにつながった。	
効率性	手段の最適性	「相生市における6次産業化及び地産地消を推進するための戦略」に基づき、計画的な事業実施を図った。	4
	コストの節減	国・県の補助事業を活用することで、市の費用負担を減らし、効率的な事業実施に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	相生産業高校と協力する等、商品開発は進んでいる。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・経営体の自立と育成 ・安定した原材料の確保



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	ゆず味噌等の売上は拡大しており、生産拡大に向け経営体の組織強化のほか、生産設備やPRの強化を図る。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010300	事業の種類	1
年度	28	事務事業名	商工業対策事業	予算事業名	商工業対策事業
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	市民生活部地域振興課	
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る	担当課長	松本 秀文	担当者名 藤岡 周平
取組み事項		魅力ある商業集積を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	県下の特産商工業者			
	誰(何)を対象として	兵庫県物産協会が行う特産商工業振興事業			
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域産業を振興することにより、活力ある豊かな地域経済を形成し、県民の生活向上を実現する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		兵庫県物産協会の運営に対し、県下市町が負担金を支出することにより運営に共同参画する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	兵庫県物産協会負担金	円	26000	25000	25000	25000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.040	0.104	260	0.124	119	0.104	84	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	668,453	1,123,382	168	1,282,766	114	1,152,593	90	
	事業費	33,340	33,640	101	32,920	98	32,000	97	
	合計	701,793	1,157,022	165	1,315,686	114	1,184,593	90	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	701,793	1,157,022	165	1,315,686	114	1,184,593	90	
合計	701,793	1,157,022	165	1,315,686	114	1,184,593	90		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		県物産協会販売状況							
指標説明(式)		ひょうごふるさと館内に設置しているイベントコーナー3か所での販売日数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
点	目標	1000	1000	100.0	1000	100.0		0.0	
	実績	1089	1089	100.0		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

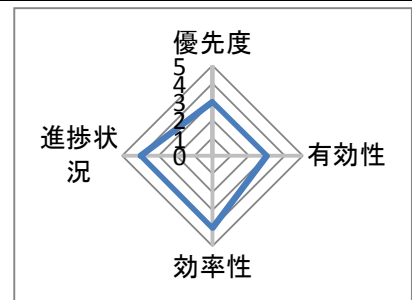
指標名1		製造品出荷額における県内ウエイト							
指標説明(式)		兵庫県物産協会年度会費積算基礎							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	4.0	3.5	87.5	3	85.7		0.0	
	実績	2.9	2.98	102.8		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市町・各種団体・企業等が協働で行うスケールメリットを活かし、県下はもとより広く全国に兵庫県の物産を宣伝紹介するとともに、販売促進及び販路拡充事業に取り組み、特産商工業の振興発展に寄与している。	3
効率性	負担割合の適正化	財政規模に応じた負担となっている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	各市町、財政規模に応じた負担となっている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
		特になし



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010400	事業の種類	3
年度	28	事務事業名	地場産業振興センター事業	予算事業名	地場産業振興センター事業 優先度 2
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文
取組み事項		魅力ある商業集積を図る		担当者名	藤岡 周平
				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	西播磨の地場産業関連企業			
	誰(何)を対象として	(公財)姫路・西はりま地場産業センター			
	意図(どのような状態にしたいのか)	西播磨の地場産業の健全な育成及び発展に貢献し、活力ある地域経済社会の形成、地域住民の生活向上及び福祉の増大に寄与すること。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		西播磨の地場産業者等に対する支援機関である姫路・西はりま地場産業センターの運営に対し、姫路市を中心に関係市町が負担金を支出することにより支援を行う。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	地場産業振興センター事業負担金	円	281000	281000	281000	284000

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.024	0.028	117	0.028	100	0.028	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	544,485	554,750	102	559,406	101	552,193	99	
	事業費	281,000	281,000	100	281,000	100	284,000	101	
	合計	825,485	835,750	101	840,406	101	836,193	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	825,485	835,750	101	840,406	101	836,193	99	
合計	825,485	835,750	101	840,406	101	836,193	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		特産品販売所播産館の売上							
指標説明(式)		売上高(千円)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	50000	50000	100.0	50000	100.0		0.0	
	実績	53113	53113	100.0		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

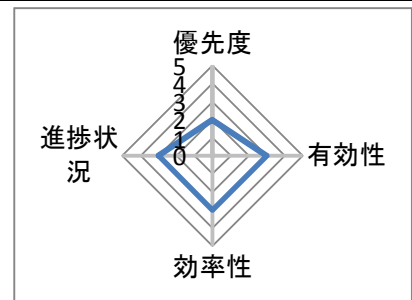
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	中・西播磨の特産品をPRしており、それぞれの地域に与える影響や売上額、誘客にもつながっている。また、販売実績等もある程度確保しており、目的は達成している。	3
	期待する目標		
効率性	手段の最適性	平成23年度より分担割合を見直し、コストの削減が図られた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	人口比率による応分負担である。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	当市の地場産品の多少が関係自治体でまちまちであり当市は、少ない方である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	売上高の割合なども負担金の算定に入れるよう、申し入れを行う。

配点	25
総合評価	13

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010500		事業の種類	5			
年度	28	事務事業名	商業共同施設補助事業		予算事業名	商業共同施設補助事業	優先度	3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名				
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る			担当課長	松本 秀文		担当者名	藤岡 周平
取組み事項		魅力ある商業集積を図る			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		相生市共同施設補助金交付規則							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内商店街組織							
	誰(何)を対象として	商店街共同施設							
	意図(どのような状態にしたいのか)	商業の活性化							

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市の商業者が組織する団体に共同施設(街路灯、カラー舗装、アーケード等)を設置する者に対し、設置に対する費用を補助し、商業振興を図る。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
			0	0	429000	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.008	100	0.004	50	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	420,517	405,110	96	408,706	101	362,593	89	
	事業費			-	428,680	-		0	
	合計	420,517	405,110	96	837,386	207	362,593	43	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	420,517	405,110	96	837,386	207	362,593	43	
	合計	420,517	405,110	96	837,386	207	362,593	43	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		補助件数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0	0	-	1	-	0	0.0	
	実績	0	0	-	1	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	商店街のハード面の整備に支援を行うことは、商店街の活性化を図るのに有効である。	2
効率性	負担割合の適正化	補助率(補助対象経費の1/3以内、限度額2,000万円)は適正と考える。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	県の随伴事業であり、28年度はほんまち商店街に防犯カメラ4台を設置するのに補助を行った。	3

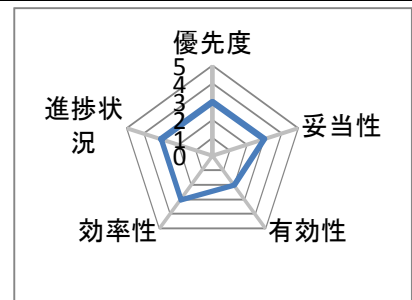
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
		特になし

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	18.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010700	事業の種類	4
年度	28	事務事業名	商店街空店舗等活用事業	予算事業名	商店街空店舗等活用事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名 市民生活部地域振興課	
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文
取組み事項		魅力ある商業集積を図る		担当者名	藤岡 周平
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		相生市商店街空き店舗等活用事業補助金交付要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の事業者			
	誰(何)を対象として	新規に市内商店街の空店舗で事業をされる事業者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	3年間にわたり家賃の補助をすることで、新規に商店街空店舗で開業していただき、空店舗の増える商店街の活気を取り戻す。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内の商店街の振興を図るため、当該商店街が形成されている地域で空き店舗を借り上げ、出店する経費に対し予算の範囲内において補助金を交付する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	補助金受領者数(新規)	店	1	1	2	1
	出店維持数	店	15	16	17	17

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.048	0.072	150	0.160	222	0.104	65	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	730,437	883,958	121	1,554,026	176	1,152,593	74	
	事業費	1,079,000	1,092,000	101	1,027,000	94	1,746,000	170	
	合計	1,809,437	1,975,958	109	2,581,026	131	2,898,593	112	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,809,437	1,975,958	109	2,581,026	131	2,898,593	112	
合計	1,809,437	1,975,958	109	2,581,026	131	2,898,593	112		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		新規出店数							
指標説明(式)		数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
店	目標	2	2	100.0	2	100.0	1	50.0	
	実績	1	1	100.0	2	200.0			
指標名2		補助店舗の営業継続率							
指標説明(式)		営業継続店舗数÷補助需給店舗×100							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	84	84	100.0	85.7	102.0		0.0	
	実績	83.3	84.2	101.1	80.9	96.1			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

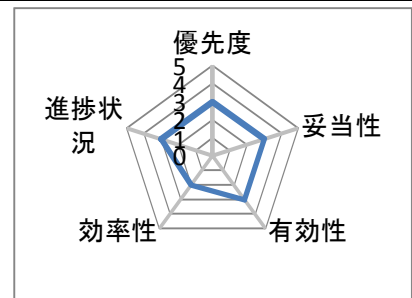
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	多額の資金を要する開業時に家賃を補助することで、開業意欲につなげる事ができた。	3
	市民サービス	商店街の周辺には住宅があり、商店街の活性化は、市民生活に大きく影響する。商店街の存続は、特に車に乗らない高齢者にとってサービスに直結するものがある。	
効率性	コストの節減	今後、補助率及び補助期間の見直しを図る必要がある。	2
	手段の最適性	空店舗対策について抜本的な対策がない中、空店舗を喰い止める手段としては最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	1件の新規利用者があった。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	時代が移り変わる中で、人の流れが変わってしまった商店街に新たに出店することは、ハードルが高く、難しい。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	創業支援事業とセットで実施、創業者の意欲向上につなげる。

配点	32.5
総合評価	18.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010800		事業の種類	5		
年度	28	事務事業名	まちな駅推進事業		予算事業名	まちな駅推進事業 優先度 3		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文		担当者名	藤岡 周平
取組み事項		魅力ある商業集積を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客						
	誰(何)を対象として	市民・観光客						
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する						

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域住民や、来訪者が求める地域の情報を提供する機能を備え、人と人の出会いと交流を促進する空間施設です。また、まちづくりの拠点となり、まちとまちをつなぐ役割を有する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	加盟数	店	20	20	20	20	

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.032	0.040	125	0.048	120	0.060	125	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	606,469	644,534	106	710,106	110	804,993	113	
	事業費	300,000	300,000	100	297,000	99	294,000	99	
	合計	906,469	944,534	104	1,007,106	107	1,098,993	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	906,469	944,534	104	1,007,106	107	1,098,993	109	
合計	906,469	944,534	104	1,007,106	107	1,098,993	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		まちな駅加盟店数							
指標説明(式)		まちづくりの拠点となるまちな駅加盟店舗数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
店	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	20	20	100.0	20	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

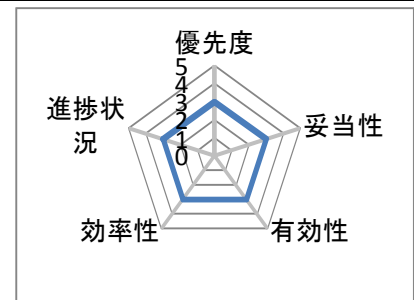
指標名1		小学校区あたりのまちの駅設置率							
指標説明(式)		まちの駅の数/小学校区の数7							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
店	目標	2.85	2.85	100.0	2.85	100.0	2.85	100.0	
	実績	2.85	2.85	100.0	2.85	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	まちの駅を利用し、人との出会いの場となるよう努めた。	3
効率性	手段の最適性	まちの駅間でネットワーク化し、お互いの情報交換をする場、手段を構築するように努めた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	各駅同士のネットワークを構築する「まちの駅ネットワーク相生協議会」を定期的に開催した。(年3回) また、駅長の代表による幹事会を組織した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	会議の日程調整に苦慮する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	多くの駅長に会議に参加していただき、情報交換とPRに努める。スタンプリーを実施し、まちの駅をPRする。

配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010900	事業の種類	4
年度	28	事務事業名	商店街活性化事業	予算事業名	商店街活性化事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文
取組み事項		魅力ある商業集積を図る		担当者名	藤岡 周平
実施計画事業名				実施計画への記載	主要事業の指定
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	商店主			
	誰(何)を対象として	商店主			
	意図(どのような状態にしたいのか)	商店主に将来的な商店街のあり方について調査し、市、商工会議所、商店連合会とが連携しながら商店街の方向性を協議し、今後の事業の計画を立案する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		商店主に調査を行い、商店街の将来的な状況を予測し、今後の事業の計画を立案する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	商店連合会加盟数	店			119	119

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.027	104	
	参事以下職員			-	0.144	-	0.132	92	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	1,433,466	-	1,373,793	96	
	事業費			-	150,000	-	150,000	100	
	合計			-	1,583,466	-	1,523,793	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	1,583,466	-	1,523,793	96	
合計			-	1,583,466	-	1,523,793	96		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		商店連合会加盟店舗数							
指標説明(式)		店							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-	119	-	119	100.0	
	実績			-	119	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

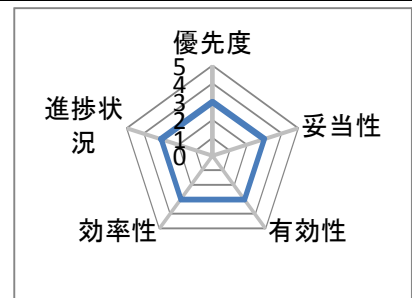
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	商店主に調査を行い、商店街の将来的な状況を予測し、今後の事業の計画を立案する	3
効率性	手段の最適性	市内の商店街の状況把握及び支援を行っている商工会議所に事業を委託することは最も適している	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	商店主へのアンケート調査に向けたセミナーを開催	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	セミナー参加者以外にも今後の商店街のあり方を考え、アンケート調査に回答していただく必要がある



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	商店主への調査、集計を行う

配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202020100		事業の種類	5		
年度	28	事務事業名	商工会議所振興事業		予算事業名	商工会議所振興事業		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文		担当者名	藤岡 周平
取組み事項		商業者による経営革新的な取り組みを支援する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の商工業者						
	誰(何)を対象として	相生商工会議所						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内商工業に円滑な経営の補助活動を行う商工会議所の運営に対し補助を行うことで、市内経済の安定・発展に努める。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生商工会議所事業である地域中小企業経営強化、商業活性化対策事業、産業技術大学相生教室事業、景気動向調査等に対し補助を行う。						
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画		
	会員数(個人)	件	352	344	343	370		
	会員数(法人)	件	357	347	347	370		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.044	0.052	118	0.052	100	0.052	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	699,445	734,318	105	740,246	101	741,793	100	
	事業費	6,385,000	6,385,000	100	6,322,000	99	6,259,000	99	
	合計	7,084,445	7,119,318	100	7,062,246	99	7,000,793	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,084,445	7,119,318	100	7,062,246	99	7,000,793	99	
合計	7,084,445	7,119,318	100	7,062,246	99	7,000,793	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		会員数(個人)							
指標説明(式)		件							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	370	370	100.0	370	100.0	370	100.0	
	実績	352	344	97.7	343	99.7			
指標名2		会員数(法人)							
指標説明(式)		件							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	370	370	100.0	370	100.0	370	100.0	
	実績	357	347	97.2	347	100.0			

【効率性】

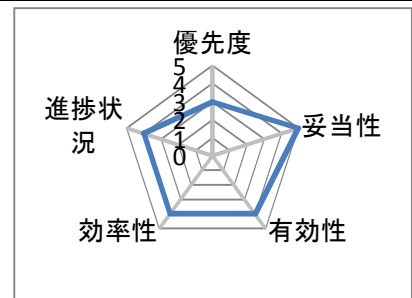
指標名1		会員あたりの補助金額							
指標説明(式)		補助金額/会員数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	8628	8628	100.0	8628	100.0	8458	98.0	
	実績	9043	9240	102.2	9162	99.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	景気低迷が長期に亘る状況下にあつて、これを克服すべく様々な事業に取り組んでいる。	4
効率性	手段の最適性	市内商工事業の状況及び支援方法に精通する、商工会議所を通じて支援を行うことが最も適していると認める。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	厳しい経済状況を反映し、会員数は微減を続けているが、商工業者支援の様々な事業に取り組んでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	会議所の職員が退職し、運営に支障がでている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	会議所の経営努力を促し、会員へのサービス維持・向上に努め、効率的な補助金の運用を図る。

配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202020300	事業の種類	4
年度	28	事務事業名	創業支援事業	予算事業名	創業支援事業
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文
取組み事項		商業者による経営革新的な取り組みを支援する		担当者名	藤岡 周平
		実施計画への記載		無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の創業希望者			
	誰(何)を対象として	市内の創業希望者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	新しい事業のアイデアや意欲を持つ者に対して、関係する機関が連携し、適時の専門的相談や情報の提供、セミナーの開催等、総合的な創業支援を行い、創業の促進を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市、相生商工会議所、国民政策金融公庫、NPO法人ひと・まち・あーと「相生市創業支援ネットワーク」を構築し、支援の連携と情報の共有により効果的に創業者を支援する。またコミュニティビジネスを創業する計画を有する個人や団体に対しても、本事業の支援を行う。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	創業相談者数	人	-	-	14	12
	創業者数	人	-	-	6	2
	創業塾受講者延人数	人	-	-	65	50
	コミュニティビジネス受講者延人数	人	-	27	25	25

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.027	104	
	参事以下職員			-	0.048	-	0.100	208	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	710,106	-	1,120,993	158	
	事業費			-	930,370	-	988,000	106	
	合計			-	1,640,476	-	2,108,993	129	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	1,640,476	-	2,108,993	129	
	合計			-	1,640,476	-	2,108,993	129	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		創業塾受講者延人数							
指標説明(式)		人							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	-	-	-	50	-	50	100.0	
	実績	-	-	-	65	-			
指標名2		コミュニティビジネス講座受講者延人数							
指標説明(式)		人							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	-	25	-	25	100.0	25	100.0	
	実績	-	27	-	25	92.6			

【効率性】

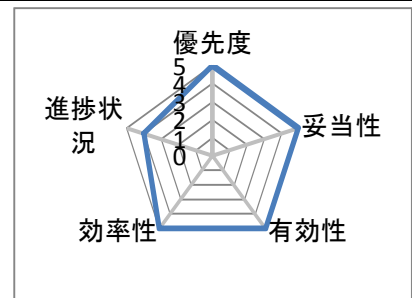
指標名1		創業塾受講者延人数あたりの補助金額							
指標説明(式)		補助金額/受講者延人数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-	10000	-	10000	100.0	
	実績			-	7692	-			
指標名2		コミュニティビジネス講座受講者延人数あたりの補助金額							
指標説明(式)		補助金額/受講者延人数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標		14000	-	14000	100.0	14000	100.0	
	実績		11991	-	12960	108.1			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	創業支援事業計画に基づく相談窓口における目標件数は達成している。	5
効率性	手段の最適性	市内の商工業の状況及び支援方法に精通する関係団体と連携し、創業者支援を行うことは最適である。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	厳しい経済状況の中であるが、多くの創業相談を行い、創業者支援を行っている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	経済状況は常に変化しており、常に支援内容の改善を行っていく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	関係団体との協議の上、支援内容の改善を行う。

配点	32.5
総合評価	31.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203010100	事業の種類	5
年度	28	事務事業名	観光協会推進事業	予算事業名	観光協会推進事業
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課	
施策名(中)	観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名
取組み事項	観光客を受け入れる体制を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定
				無	無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客			
	誰(何)を対象として	市民・観光客			
	意図(どのような状態にしたいのか)	観光関係団体への補助を通して、相生市の観光PR活動を促進していく			

2 事業の概要 Do

実施の概要		観光事業を実施する観光協会の各種事業の補助金とみなとの女王の選出及び活用についての運営費への補助。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	観光客数	人	717691	664855	638048	640000
	観光協会会員数	個人・団体	260	268	218	218

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.292	0.304	104	0.293	96	0.168	57	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,620,949	2,619,782	100	2,556,181	98	1,658,193	65	
	事業費	2,950,000	2,950,000	100	2,950,000	100	2,950,000	100	
	合計	5,570,949	5,569,782	100	5,506,181	99	4,608,193	84	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,570,949	5,569,782	100	5,506,181	99	4,608,193	84	
合計	5,570,949	5,569,782	100	5,506,181	99	4,608,193	84		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		観光客数							
指標説明(式)		観光客数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	750000	750000	100.0	750000	100.0	640000	85.3	
	実績	717691	664855	92.6	638048	96.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

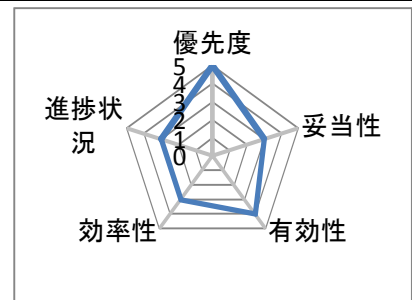
指標名1		相生市観光協会会員数							
指標説明(式)		会員数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
部	目標	280	280	100.0	280	100.0		0.0	
	実績	260	268	103.1		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
団体	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	観光協会の発信のSNSがに効果的な情報発信に機能し、閲覧者や、フォロワーが爆発的に増加している	4
効率性	手段の最適性	市外の観光キャンペーンに積極的に参加した。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	SNSによる情報発信を積極的に行った。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	相生ペーロン海館、相生駅前総合情報発信施設整備に伴う、人員の確保と要請が急務となる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	募集を早めに行う。

配点	32.5
総合評価	24.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203010200	事業の種類	5
年度	28	事務事業名	観光費事務経費	予算事業名	観光費事務経費
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	市民生活部地域振興課	
施策名(中)		観光の振興を図る	担当課長	松本 秀文	担当者名 藤岡 周平
取組み事項		観光客を受け入れる体制を充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客・観光協会員			
	誰(何)を対象として	市民・観光客・観光協会員観光協会員			
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市観光協会の円滑な運営と、相生市の観光PR活動の促進を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市における観光事業の振興を図ることと共に、効率的にPR効果を高めるため広域観光協議会に加盟し共同PRを図り、交流人口を増やすことで、市民文化の高揚、産業発展に寄与する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	観光協会会員数	個人・団体	260	268	218	218

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.256	0.192	75	0.164	85	0.156	95	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,342,021	1,781,798	76	1,584,166	89	1,563,393	99	
	事業費	1,840,160	1,550,600	84	1,304,453	84	1,754,000	134	
	合計	4,182,181	3,332,398	80	2,888,619	87	3,317,393	115	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,182,181	3,332,398	80	2,888,619	87	3,317,393	115	
	合計	4,182,181	3,332,398	80	2,888,619	87	3,317,393	115	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生市観光協会会員数							
指標説明(式)		会員数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	280	280	100.0	280	100.0	218	77.9	
	実績	260	268	103.1	218	81.3			
指標名2		観光協会職員数(臨時)							
指標説明(式)		職員数 (臨時職員1名 パート職員名)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1	1	100.0	1	100.0	2	200.0	
	実績	1	1	100.0	2	200.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	広域的な観光協議会を組織することは、重要である。	4
効率性	執行体制の効率性	交通の結末点であり、観光資源の乏しい当市にとって、広域的な協議会でPRに努めることで効率的に業務にあたることができる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	問題なく進捗している。	4

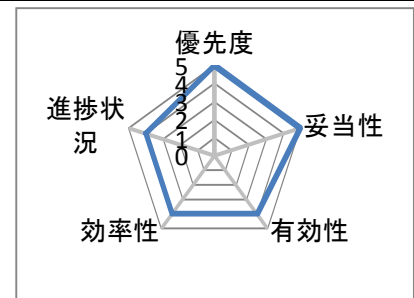
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	地方創生により、観光キャンペーンや、駅でパンフレットを配布するため、観光協会予算で増刷している。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	mapについて、隔年作成のものを、毎年作成の予算化を行うべきである。



配点	32.5
総合評価	29.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203010400		事業の種類	3	
年度	28	事務事業名	観光PR推進事業		予算事業名	優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	藤岡 周平
取組み事項		観光客を受け入れる体制を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		相生駅前案内所設置事業					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客					
	誰(何)を対象として	市民・観光客					
	意図(どのような状態にしたいのか)						

2 事業の概要 Do

実施の概要		デジタルコンテンツで観光PRを行うことで、より多くの方に情報発信が可能となる。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	ホームページアクセス数	件	90619	90083	82200	90000	
	ブログアクセス数	件	101450	82351	68040	70000	

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.076	0.132	174	0.133	101	0.124	93	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	947,381	1,332,878	141	1,350,581	101	1,310,593	97	
	事業費			-		-		-	
	合計	947,381	1,332,878	141	1,350,581	101	1,310,593	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	947,381	1,332,878	141	1,350,581	101	1,310,593	97	
合計	947,381	1,332,878	141	1,350,581	101	1,310,593	97		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ホームページのアクセス数							
指標説明(式)		市内観光資源・店舗のPRに努めた。アクセス数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	100000	105000	105.0	105000	100.0	105000	100.0	
	実績	90619	90083	99.4	82200	91.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

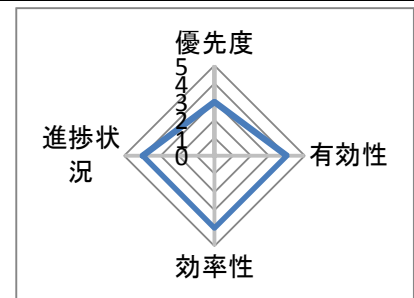
指標名1		観光協会ブログアクセス数							
指標説明(式)		ホームページよりタイムリーな情報発信を図る。アクセス数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	105000	105000	100.0	105000	100.0		0.0	
	実績	101450	82351	81.2	68040	82.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	観光協会のホームページを活用し、相生市の観光情報を随時更新していくことで、広く観光PRを行う。	4
効率性	執行体制の効率性	ホームページでフォローしきれない即時的な情報をSNSを活用してタイムリーに発信する。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	SNSの活用により、きめ細かい情報発信が可能となっている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	国より、東京五輪をまでに、新幹線全駅に観光案内所を設置する目標が示された。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	相生駅前総合情報発信施設の建設を行い、情報発信力を高める。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040203010500		事業の種類		4	
年度	28	事務事業名	相生市観・交・商連携型地域活性化事業	予算事業名	相生市観・交・商連携型地域活性化事業	優先度	5
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名 市民生活部地域振興課			
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	藤岡 周平
取組み事項		観光客を受け入れる体制を充実する		実施計画への記載		主要事業の指定	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の観光、交通、商業者のため					
	誰(何)を対象として	市民と当市を訪れる人					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内の商店、ホテル、交通事業者の利用、稼働を高める					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市民や当市を訪れる方が、市内の観光・交通・商業の事業者を利用しやすいように、観光案内所を設ける。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	駅前施設の利用者						

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.027	104	
	参事以下職員			-	0.388	-	0.940	242	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	3,272,006	-	7,756,993	237	
	事業費			-	11,884,480	-	52,400,000	441	
	合計			-	15,156,486	-	60,156,993	397	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	15,156,486	-	60,156,993	397	
合計			-	15,156,486	-	60,156,993	397		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		施設来場者数							
指標説明(式)		施設来場者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		来場者一人に対するコスト							
指標説明(式)		総事業費/来場者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	案内所を設け、駅利用者による潜在的な価値に光をあてることで、顕在の価値を見出す	3
	成果の向上	播磨科学公園都市の南の玄関口として、来訪者に対して、心温まるおもてなし、案内を行い、相生市での飲食や宿泊への誘客を図る。	
効率性	執行体制の効率性	案内所の運営は、駅前の機能を施設に集約し、観光協会、ウエスト神姫、駅レンタカーが施設を運営することで、コストの分散を図る。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	施設の基本的なコンセプトをまとめることが出来た。	4

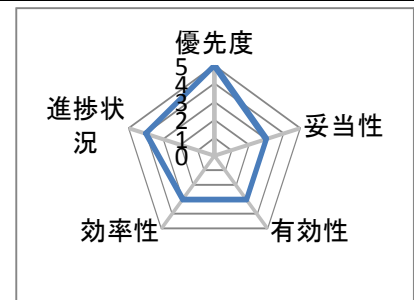
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	年中無休で運営しなければならず、新たな人員の確保に人件費が必要となる。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	各団体に運営の協力を取り付け、運営方法をまとめる。



配点	32.5
総合評価	24.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020100	事業の種類	5
年度	28	事務事業名	相生ペーロン祭事業	予算事業名	相生ペーロン祭事業
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無
実施計画事業名		ペーロン新艇建造事業		主要事業の指定	無
		ペーロン100周年記念事業			
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客			
	誰(何)を対象として	市民・観光客			
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出するとともにペーロンを通じた地域の活性化を促進する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		サミットのため7月に、相生ペーロン祭を開催した。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	観光客	人	120000	110000	120000	120000
	ペーロン競漕参加チーム数	チーム	69	69	66	64

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	1.351	1.584	117	1.200	76	0.840	70	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	10,826,081	12,196,742	113	9,390,426	77	6,966,993	74	
	事業費	28,829,920	15,511,680	54	15,147,000	98	16,000,000	106	
	合計	39,656,001	27,708,422	70	24,537,426	89	22,966,993	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	39,656,001	27,708,422	70	24,537,426	89	22,966,993	94	
合計	39,656,001	27,708,422	70	24,537,426	89	22,966,993	94		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ペーロン祭観客数							
指標説明(式)		ペーロン祭の観客数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	120000	120000	100.0	120000	100.0	120000	100.0	
	実績	120000	110000	91.7	120000	109.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		ペーロン祭観客数の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/観客数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	240	130	54.2	126	96.9	125	99.2	
	実績	240	130	54.2	126	96.9			
指標名2		ペーロンアドバイザー設置							
指標説明(式)		ペーロンアドバイザー設置経費							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	-	-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ペーロン祭を開催することで多くの観光客を相生市に誘致することができた。また、テレビ番組等で取り上げていただき、県外にも相生市のPRをすることができた。	4
効率性	コストの節減	前夜祭有料駐車場の設置や、来場者へのペーロン祭募金、を実施しているが、年々警備費が増加している。	3
	手段の最適性	露店出店者に係る暴力団対策事務の洗練	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きなトラブルもなく、計画通り実施出来た。	5

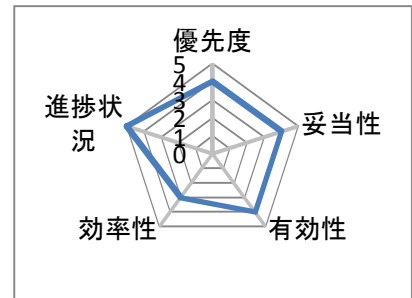
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	警備費については、前年をベース計画を行い、足りないところを補うため、年々増加してしている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	警備員の適正配置につとめる



配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020200	事業の種類	5
年度	28	事務事業名	羅漢の里もみじまつり事業	予算事業名	羅漢の里もみじまつり事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名 市民生活部地域振興課	
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文
取組み事項		交流の活性化を推進する		担当者名	藤岡 周平
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客			
	誰(何)を対象として	市民・観光客			
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		11月第2日曜日に開催。矢野町瓜生の自然を利用したイベント。市民参加型のかがしコンテストやステージイベントや各種バザーなどを実施。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	観客数	人	5800	8500	12000	12000
	かがし出品数	体	1062	1000	1000	1000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.500	0.596	119	0.432	72	0.476	110	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	4,232,533	4,804,526	114	3,603,546	75	4,091,393	114	
	事業費	2,000,000	2,000,000	100	1,980,000	99	1,960,000	99	
	合計	6,232,533	6,804,526	109	5,583,546	82	6,051,393	108	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,232,533	6,804,526	109	5,583,546	82	6,051,393	108	
合計	6,232,533	6,804,526	109	5,583,546	82	6,051,393	108		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		もみじまつり観客数							
指標説明(式)		もみじまつり当日(土日)の観客							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	10000	10000	100.0	10000	100.0	12000	120.0	
	実績	5800	8500	146.6	12000	141.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

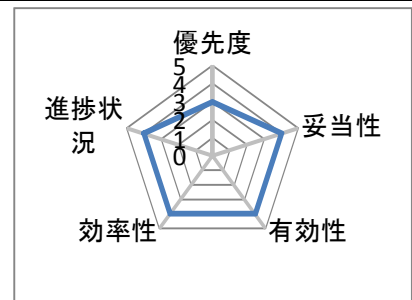
指標名1		もみじまつり観客数の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/観客数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	450	668	148.4	500	74.9	504	100.8	
	実績	1074	536	49.9	465	86.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	メイン開催日が6年ぶりに晴れたため、多くの来場者があった。	4
効率性	手段の最適性	大物芸能人頼みの集客から参加型ゲームを取り入れるなど、アットホームで趣向を凝らしたステージイベントに転換しコストを削減する。	4
	執行体制の効率性	イベントのコーナーを分散化し、それぞれの担当を各種団体をお願いすることで、市民団体のやる気等、モチベーションの向上につながった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	土曜の開催(バザー等の実施)がのんびりとした雰囲気イベントとして成立している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	天候が良かったため、来場者が多く、イベント終了まで、バザーの売り物が売り切れてしまった。しかし、交通渋滞を発生させないような運営を行えた。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	参加者に天気予報を注意して、出店体制を整えるように注意を促す。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020300		事業の種類	5		
年度	28	事務事業名	相生かきまつり補助事業		予算事業名	相生かきまつり事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る			担当課長	松本 秀文	担当者名	藤岡 周平
取組み事項		交流の活性化を推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客						
	誰(何)を対象として	市民・観光客						
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する						

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市の特産である牡蠣を全国にPRしていくため、焼き牡蠣コーナーや各種バザー、ステージイベントを実施。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	観客数	人	20000	—	20000		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.404	0.336	83	0.248	74	0.296	119	
	臨時職員			—		—		—	
支出内訳	人件費	3,488,725	2,859,206	82	2,217,106	78	2,669,393	120	
	事業費	700,000	400,000	57	693,000	173	686,000	99	
	合計	4,188,725	3,259,206	78	2,910,106	89	3,355,393	115	
財源内訳	国庫支出金			—		—		—	
	県支出金			—		—		—	
	市債			—		—		—	
	その他			—		—		—	
	一般財源	4,188,725	3,259,206	78	2,910,106	89	3,355,393	115	
合計	4,188,725	3,259,206	78	2,910,106	89	3,355,393	115		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		かきまつり観客数							
指標説明(式)		かきまつり当日の観客数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	15000	15000	100.0	20000	133.3	20000	100.0	
	実績	20000	—	—	20000	—			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

【効率性】

指標名1		かきまつり来場者の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/来場者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	133	100	75.2	100	100.0	100	100.0	
	実績	89	-	-	145	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生牡蠣をPRする目的で実施するイベントとしては十分に役割を果たしている。	5
効率性	執行体制の効率性	相生牡蠣のブランドを高めることで、効率的に水産業の活性化を進めることが出来る。	2
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	全庁体制で、相生牡蠣のブランド化を進める必要がある	1

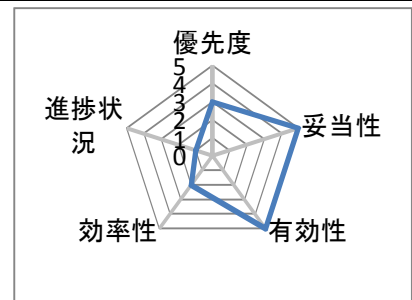
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	相生牡蠣のブランド化向上について、農林水産課が主体的にすすめないと、他市の牡蠣より、不利な条件で市場で取引されることになる。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	農林水産課がかきまつりに主体的に参加する体制づくりを行う。



配点	32.5
総合評価	21.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020400	事業の種類	5
年度	28	事務事業名	相生ペーロン振興事業	予算事業名	相生ペーロン振興事業 優先度 5
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文
取組み事項		交流の活性化を推進する		担当者名	藤岡 周平
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客			
	誰(何)を対象として	市民・観光客			
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		ペーロン文化の普及啓発と後継者育成のため市内小学生対象に体験乗船会を実施				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	体験乗船参加者数	人	2263	2177	2506	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.208	0.232	112	0.192	83	0.180	94	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,970,117	2,081,078	106	1,795,146	86	1,752,993	98	
	事業費	600,000	600,000	100	550,000	92	550,000	100	
	合計	2,570,117	2,681,078	104	2,345,146	87	2,302,993	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,570,117	2,681,078	104	2,345,146	87	2,302,993	98	
合計	2,570,117	2,681,078	104	2,345,146	87	2,302,993	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		体験乗船参加者数							
指標説明(式)		こどもの日、前夜祭、市内の幼、小、中、高校生及び、市外の参加者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2000	2000	100.0	2500	125.0	2500	100.0	
	実績	2263	2177	96.2	2506	115.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

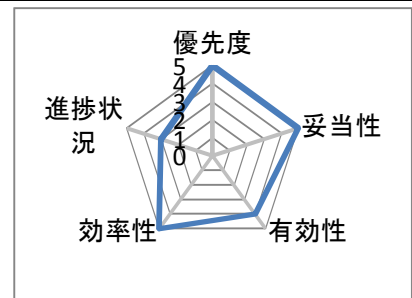
指標名1		体験乗船実施回数							
指標説明(式)		こどもの日、前夜祭、市内の幼、小、中、高校及び、市外の実施回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	15	17	113.3	18	105.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	申込のあった体験乗船を全て安全に実施することができた。	4
効率性	手段の最適性	体験乗船に係る費用等は、艇使用料・指導料(スタッフ)・警備艇の経費であり、コストは適正と考える。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	体験乗船のニーズが高まっているが、執行体制が固定化し、事業拡張できない状況である。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	協会の運営体制が固定化され、一部の人間に負担がかかっている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	賛助会員を募り、体験乗船の担い手を増やす。

配点	32.5
総合評価	29.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020700		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	ペーロン海館管理事業		予算事業名	ペーロン海館管理事業 優先度 5	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文		担当者名 藤岡 周平
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客					
	誰(何)を対象として	市民・観光客					
	意図(どのような状態にしたいのか)	ペーロン海館として、ペーロン船の格納場所としてだけでなく、ペーロン体験乗船を中心とするペーロン振興の拠点とすること。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		ペーロン競漕で使用するペーロン船を格納するとともに展示し、観光客の見学を実施するとともに、ペーロン体験乗船の拠点としている。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	開館日	日	365	365	365		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.048	0.016	33	0.016	100	0.020	125	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	730,437	464,966	64	468,986	101	488,993	104	
	事業費	2,400,000	2,400,000	100	2,400,000	100	5,521,000	230	
	合計	3,130,437	2,864,966	92	2,868,986	100	6,009,993	209	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,130,437	2,864,966	92	2,868,986	100	6,009,993	209	
合計	3,130,437	2,864,966	92	2,868,986	100	6,009,993	209		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ペーロン海館の開館日数							
指標説明(式)		日							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
日	目標	365	365	100.0	365	100.0	365	100.0	
	実績	365	365	100.0	365	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

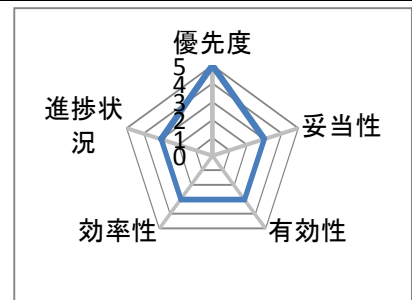
指標名1		管理委託料							
指標説明(式)		ペーロン海館管理料(案内人件費、光熱水費、消耗品費等)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
日	目標	2400000	2400000	100.0	2400000	100.0	1080000	45.0	
	実績	2400000	2400000	100.0	2400000	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ペーロン競漕の練習、体験乗船、観光客の見学などで多くの人々が訪れている。	3
効率性	手段の最適性	指定管理者制度を導入し、効率的な管理に努めている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	指定管理者制度を導入し、契約に基づき適正に管理されている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	効率的な管理が必要



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	新艇庫移転後の利活用を検討する。

配点	32.5
総合評価	23.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020800		事業の種類	2		
年度	28	事務事業名	道の駅管理運営事業		予算事業名	道の駅管理運営事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	藤岡 周平	
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		道の駅管理運営						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客						
	誰(何)を対象として	市民・観光客						
	意図(どのような状態にしたいのか)	道の駅で市民・観光客の交流をし、賑わいの場となる。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		道の駅白龍城の管理運営を委託。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	道の駅管理委託料	円	3108000	3196800	3196800	3196800	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.072	0.028	39	0.028	100	0.032	114	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	916,389	554,750	61	559,406	101	583,793	104	
	事業費	5,745,478	9,199,573	160	5,689,399	62	6,012,000	106	
	合計	6,661,867	9,754,323	146	6,248,805	64	6,595,793	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,661,867	9,754,323	146	6,248,805	64	6,595,793	106	
合計	6,661,867	9,754,323	146	6,248,805	64	6,595,793	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		道の駅来場者数							
指標説明(式)		道の駅来場者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	400000	400000	100.0	400000	100.0	400000	100.0	
	実績	354548	349102	98.5	316555	90.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		道の駅来場者の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		管理経費/来場者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	15	26	173.3	10	38.5	10	100.0	
	実績	19	9	47.4	10	111.1			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	適性に管理運営を実施できた。	3
	成果の向上	民間資源を活用し、EV充電施設を設置し、道の駅機能向上を行った。	
効率性	コストの節減	委託料は、据え置かれている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	維持管理委託契約に基づき適正に運営されている。	3

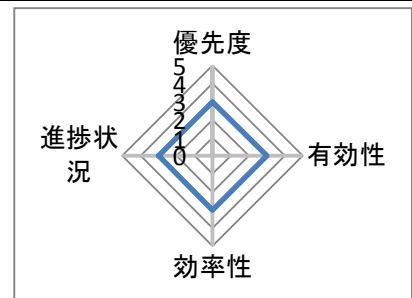
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	直売コーナーの商品について、夏場空調が無いため、傷んでる商品が見受けられ、苦情が市にある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	直売コーナーを屋内にして、空調を整備する必要がある。



配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020900	事業の種類	6
年度	28	事務事業名	ペーロン海館建設事業	予算事業名	ペーロン海館建設事業 優先度 ー
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文 担当者名 今井 玄
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	有 主要事業の指定 無
実施計画事業名		新ペーロン艇庫建設設			
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客			
	誰(何)を対象として	市民・観光客			
	意図(どのような状態にしたいのか)	ペーロン船の格納場所としてだけでなく、ペーロン船の利用を促進し・見学する観光客・市民の憩いの場、新たな観光拠点とすること。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生港臨海部活性化基本計画に基づき新ペーロン艇庫を建設し、ペーロンの振興、観光拠点の整備を図る。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.364	0.150	41	0.588	392	1.128	192	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,178,805	1,467,554	46	4,779,006	326	9,242,193	193	
	事業費	42,658,920	11,122,920	26	151,437,924	1,361	140,696,000	93	
	合計	45,837,725	12,590,474	27	156,216,930	1,241	149,938,193	96	
財源内訳	国庫支出金	20,681		0		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債	18,600		0		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	45,798,444	12,590,474	27	156,216,930	1,241	149,938,193	96	
合計	45,837,725	12,590,474	27	156,216,930	1,241	149,938,193	96		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		説明会の回数							
指標説明(式)		地元説明会の開催回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	1	2	200.0	1	50.0		0.0	
	実績	1	0	0.0		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		設計委託に係るコンサル活用							
指標説明(式)		打合せ会数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	3	5	166.7	10	200.0		0.0	
	実績	1	8	800.0	5	62.5			

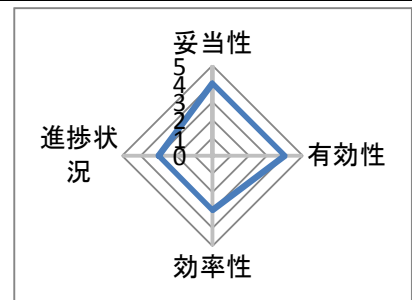
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	施設機能の充実を図り、相生の伝統文化であるペーロンの振興を図る。	4
効率性	手段の最適性	指名入札により、業者選定を行った。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	艇庫の詳細設計を行った。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	入札により工事業者を設定したが、業者の力量不足が露呈する形となった。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	公共性	市民に有効な施設となるよう、使用方法、活用方法等を検討する。

配点	32.5
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203021000		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	第三セクター事業		予算事業名	優先度	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名	横川 昌紀
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	白龍城等の利用者					
	誰(何)を対象として	第三セクター					
	意図(どのような状態にしたいのか)	健全経営の実現を求め、相生湾の観光・レクリエーションを促進し、にぎわいの場とする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		健全経営の実現を求め、観光・レクリエーションを敷く新し、にぎわいの場の拠点とする。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	株式取得		-	-	-	-	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.016	0.012	75	0.016	133	0.016	100	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	482,501	435,038	90	468,986	108	457,393	98	
	事業費			-		-		-	
	合計	482,501	435,038	90	468,986	108	457,393	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	482,501	435,038	90	468,986	108	457,393	98	
	合計	482,501	435,038	90	468,986	108	457,393	98	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ペーロン城入場者数							
指標説明(式)		ペーロン城(温泉・飲食・物販)への入場者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	400,000	400,000	100.0	400,000	100.0	400,000	100.0	
	実績	354,548	349,107	98.5	316,555	90.7			
指標名2		取締役会等への出席回数							
指標説明(式)		あいおいアクアポリス(株)の取締役として相生市が出席した回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			

【効率性】

指標名1		入場者数等の報告回数							
指標説明(式)		温泉、飲食、物販に対する入場者数、売上額などの報告回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	12	12	100.0	12	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	入場者数は減少が続いているため、独自の取り組みにより集客を増やす必要がある。	3
	市民サービス	道の駅ということで、相生市内の交流人口の核となっているだけでなく、通常時においても物販コーナーなど市民のにぎわいの場ともなっているがマンネリ化にもなっている。	
効率性	手段の最適性	相生湾臨海部のにぎわいの場の創出手段としては交流人口集客施設として必要である。	4
	負担割合の適正化	相生市は、株主であるが、損失補償等を行っていないため適正である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	道の駅、海の駅としてにぎわいの拠点としているが、入場者・売上ともに減少が続いており目標達成が厳しい状況にある。	3

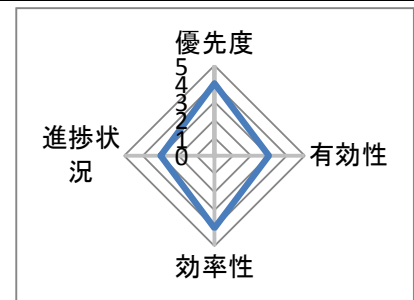
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	ペーロン艇庫は、市所有であるため、集客の助けになるような跡地利用の検討が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	相生市の活性化にもつながるよう、ペーロン城全体の利用促進となる方策を検討し、支援する。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203021100		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	ふるさと応援大使活用事業		予算事業名	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	藤岡 周平
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	主要事業の指定		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	全国の相生市を応援してくれる人々					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市に移住、定住、ふるさと応援寄付をしてくれる人を増やす。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		ふるさと応援大使のど根性大根大ちゃんの知名度を上げることにより、市のPR効果を高め、他のふるさと応援大使により、市のPRを行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	キャンペーン実施回数	回			5		
	グランプリ順位	位			377		

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.027	104	
	参事以下職員			-	0.048	-	0.112	233	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	710,106	-	1,215,793	171	
	事業費			-		-		-	
	合計			-	710,106	-	1,215,793	171	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	710,106	-	1,215,793	171	
	合計			-	710,106	-	1,215,793	171	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ゆるきゃらグランプリ順位							
指標説明(式)		キャンペーンの回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-	2	-	
	実績			-	5	-		-	
指標名2		ゆるきゃらグランプリ ど根性大ちゃん順位							
指標説明(式)		ゆるきゃらグランプリ ど根性大ちゃん順位							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-	350	-	370	105.7	
	実績			-	377	-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	ど根性大根知名度アップを図ることで、相生市の知名度を上げる	3
効率性	執行体制の効率性	ゆるきゃらイベントに参加することで、全国のお越しになる方々に相生市を知ってもらえる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	ふるさと応援大使事業は始まった。	1

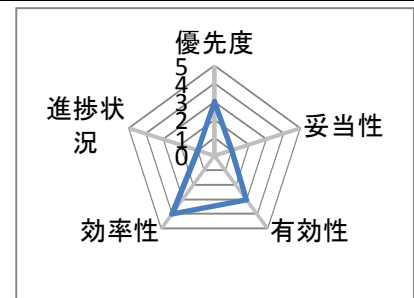
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	ゆるきゃらの周知には、方法と時間が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	ふるさと応援大使にSNS等で当市の情報を広めてもらえるように、働きかけを行う。



配点	32.5
総合評価	15.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203030100	事業の種類	4
年度	28	事務事業名	ふるさと交流館管理事業	予算事業名	ふるさと交流館管理事業 優先度
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	竹本 頼高 担当者名
取組み事項		レクリエーション施設の整備とネットワークづくりを行う		実施計画への記載	有 主要事業の指定
実施計画事業名		ふるさと交流館管理事業			
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	地域住民及び施設利用者			
	誰(何)を対象として	地域住民及び施設利用者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	自然環境、歴史学習、農林業体験等を通じて、市民の自主的な学習活動と多様な交流の促進及び教養、文化の高揚並びに地域の農業振興を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		ふるさと交流館において、田植え体験や芋掘り体験などの色々な活動を行うことと、都市と農村の交流を図ることにより、地域の活性化を図る。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	交流館利用者数	人	6452	5847	5621	9000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.092	0.100	109	0.088	88	0.120	136	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,071,349	1,093,454	102	1,011,506	93	1,278,993	126	
	事業費	10,409,672	8,156,125	78	8,748,586	107	8,151,000	93	
	合計	11,481,021	9,249,579	81	9,760,092	106	9,429,993	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	11,481,021	9,249,579	81	9,760,092	106	9,429,993	97	
合計	11,481,021	9,249,579	81	9,760,092	106	9,429,993	97		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用者数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	11000	11000	100.0	10000	90.9	9000	90.0	
	実績	6452	5847	90.6	5621	96.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

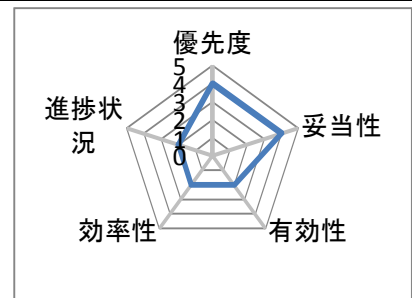
指標名1		来場者一人あたりの経費							
指標説明(式)		管理経費/会館利用者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	900	900	100.0	900	100.0		0.0	
	実績	1531	1831	119.6	1875	102.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	イベントがマンネリ化し、利用者減となっている。	2
	市民サービス	従事者の高齢化等で提供サービスの劣化が進んでいる。	
効率性	コストの節減	利用率を上げ、コスト削減を行う必要がある。	2
	執行体制の効率性	指定管理者制度により、民間のノウハウを活用した集客やサービス提供を図ったが、十分な成果が得られなかった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	指定管理者が途中で解約し、新たな指定管理者の管理に移行することとなった。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	施設の老朽化に伴い、計画的な修繕により経費負担の予算化が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	建物及び設備の修繕計画の作成を検討する。

配点	32.5
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203030200	事業の種類	4
年度	28	事務事業名	羅漢の里管理事業	予算事業名	羅漢の里管理事業 優先度 4
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		観光の振興を図る	担当課長	竹本頼高	担当者名 船曳直志
取組み事項		レクリエーション施設の整備とネットワークづくりを行う	実施計画への記載	有	主要事業の指定 無
実施計画事業名		羅漢の里整備事業			
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	羅漢の里の施設			
	意図(どのような状態にしたいのか)	羅漢の里を整備、管理し、憩いと安らぎの場の提供とともに、観光の振興に寄与する施設とする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		羅漢の里の施設管理及び委託業務				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	利用者数(市民)	人	4625	4061	4162	5000
	利用者数(市外)	人	15583	18597	17757	18000
	整備箇所	箇所	4	3	4	
	整備事業費	円	5779400	5032800	5345989	5667000

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.412	0.332	81	0.068	20	0.040	59	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,550,709	2,829,278	80	860,806	30	646,993	75	
	事業費	8,077,948	7,244,208	90	5,345,989	74	5,667,000	106	
	合計	11,628,657	10,073,486	87	6,206,795	62	6,313,993	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	11,628,657	10,073,486	87	6,206,795	62	6,313,993	102	
合計	11,628,657	10,073,486	87	6,206,795	62	6,313,993	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用者数							
指標説明(式)		コテージ、テント村利用者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	22000	22000	100.0	22000	100.0	22000	100.0	
	実績	20208	22658	112.1	21919	96.7			
指標名2		稼働率(コテージ)							
指標説明(式)		年間利用件数÷365日×10棟							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	22	22	100.0	22	100.0	22	100.0	
	実績	24.8	27.3	110.1	24.3	89.0			

【効率性】

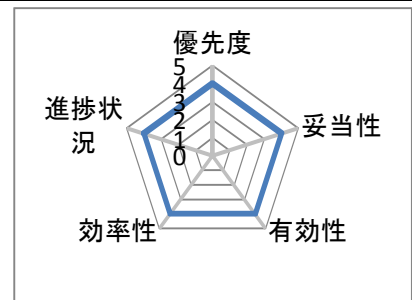
指標名1		利用者1人当たりコスト							
指標説明(式)		事業費 ÷ 利用者							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	545	496	91.0	352	71.0	246	69.9	
	実績	575	445	77.4	244	54.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	指定管理者による自主事業が実施されることにより、更なる市民サービスの向上へと繋がっている。 また、コテージ等老朽化に伴う修繕について、適宜迅速に対応出来た。	4
	成果目標(改善)達成度	利用者数は、昨年より739人の減だが、一昨年よりは、1,711人の増となっている。	
効率性	コストの節減	平成26年度より、管理コスト等を考慮し引き続き指定管理者を更新しており、コストの節減は図られている。	4
	手段の最適性	指定管理者制度によるサービス低下もなく、効率的な管理運営がされているため、引き続き指定管理者制度による運営を行う。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	施設の老朽化が顕著であり、維持管理から更新工事の必要な施設が増えている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	施設改修計画に基づいた修繕工事を実施していく。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040204010100	事業の種類	5
年度	28	事務事業名	匠の技(造船技術)継承事業	予算事業名	匠の技(造船技術)継承事業
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課	
施策名(中)	地域に根ざした工業の強化を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名
取組み事項	地域ものづくり基盤の強化を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	造船関連企業従業員			
	誰(何)を対象として	造船関連企業従業員が必要とする高度な技術の習得			
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市の基幹産業である造船業を支えてきた団塊の世代が培ってきた貴重な経験や高い技術が、退職を機に失われることのないよう、新たな世代に継承する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	相生技能研修センターが実施する造船技術継承を目的とした専門技能研修への補助					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	研修受講者数(延べ)	人	225	277	247	286
	受講企業数(延べ)	社	55	78	28	30

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104
	参事以下職員	0.028	0.016	57	0.016	100	0.020	125
	臨時職員			-		-		-
支出内訳	人件費	575,477	464,966	81	468,986	101	488,993	104
	事業費	200,000	200,000	100	200,000	100	200,000	100
	合計	775,477	664,966	86	668,986	101	688,993	103
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	775,477	664,966	86	668,986	101	688,993	103
合計	775,477	664,966	86	668,986	101	688,993	103	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	相生技能研修センター研修受講者数								
指標説明(式)	研修受講者数								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	296	297	100.3	297	100.0	286	96.3	
	実績	225	277	123.1	247	89.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

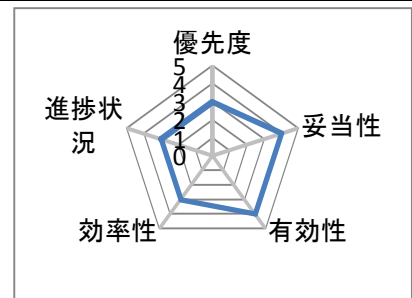
指標名1		受講者一人当たりに補助金							
指標説明(式)		総事業費÷総受講者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	675	673	99.7	673	100.0	699	103.9	
	実績	889	722	81.2	809	112.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	造船技能の継承は、相生の基幹産業を担うためには不可欠である。	4
効率性	負担割合の適正化	事業経費に占める県・市補助金の割合は、県8.0%、市2.1%である。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	会員企業のほか、会員以外の関連企業からも受講者を募り、技能の継承に積極的に取り組んでいる。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	IHIグループと相生商工会議所が主体的に実施している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	現体制を維持した状態で運営をしていく

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	040204020100		事業の種類	4			
年度	28	事務事業名	中小企業小額資金融資事業	予算事業名	中小企業小額資金融資事業	優先度	3
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)	地域に根ざした工業の強化を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	藤岡 周平	
取組み事項	中小企業の経営改善強化に向けた支援をする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	相生市中小企業小額資金融資要綱 相生市中小企業小額資金融資保証料補助金交付要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の中小企業者					
	誰(何)を対象として	市内に事業所又は営業所を有する中小企業者のうち市税を完納し、原則として同一事業を1年以上引続き営んでいる者で、相生市中小企業小額資金融資を受けた事業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	信用保証手数料を補給することにより借手中小企業者の借入負担を軽減し、当該融資を活発化し、売上減少による影響及び倒産の防止を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	①市制度融資事務 保証契約事務(信用保証協会)、金融機関との覚書の締結(指定金融機関)、融資申込み受付、融資依頼 ②利子補給事務 保証期間5年以内、保証金額1,000万円を限度に算出した保証協会の保証料を15万円(5年間で1回の申請のみ)を限度として、補助					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	融資総額	千円	94300	70400	69900	70000
	保証料補助額	円	707182	987816	1599687	1000000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.100	0.040	40	0.040	100	0.036	90	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,133,333	644,534	57	649,826	101	615,393	95	
	事業費	1,224,282	987,816	81	1,599,687	162	1,500,000	94	
	合計	2,357,615	1,632,350	69	2,249,513	138	2,115,393	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,357,615	1,632,350	69	2,249,513	138	2,115,393	94	
合計	2,357,615	1,632,350	69	2,249,513	138	2,115,393	94		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	市制度融資件数								
指標説明(式)	件数								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	20	20	100.0	20	100.0	6	30.0	
	実績	17	14	82.4	21	150.0			
指標名2	保証料補助件数								
指標説明(式)	件数								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	20	7	35.0	20	285.7	6	30.0	
	実績	7	12	171.4	20	166.7			

【効率性】

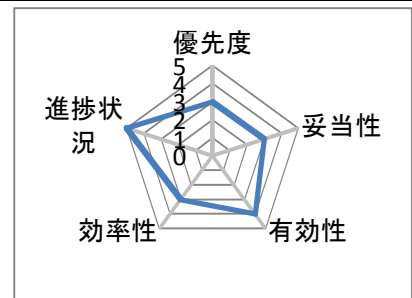
指標名1		1件当たりの保証料補助額							
指標説明(式)		保証料補助額/保証件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	125000	135710	108.6	125000	92.1	150000	120.0	
	実績	101026	82318	81.5	79984	97.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	概ね計画通りに件数、補助額ともに実施できた。	4
	市民サービス	市内の経済活性化は市行政に直結し、市民生活の向上に繋がる。	
効率性	手段の最適性	市内金融機関で融資利率を統一している。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	昨年に比べ、融資額が減少しているが、件数は増えている。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	保証補助額を足りず、補正を行った。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	制度をたくさん利用してもらえば、それだけ補助も増えるので、流用や補正で対応する必要がある。

配点	32.5
総合評価	22.5